

# 事業計画

## クラブ奉仕委員会

委員長 大矢 宏 典                      副委員長 林                      潤 彦  
委員 三宅 清 嗣・大之木 伸一郎・福島 義 文  
山村 貞 夫・木村 嘉 宏・武田 保 信

### ◎活動目標

クラブ奉仕の諸活動が円滑に運営されるように計る。

事業計画		実施予定月	
1	呉クラブの運営、活動が円滑に進められるよう、各委員会(会員増強(委)、会員選考・職業分類(委)、出席・プログラム(委)・親睦活動(委)、広報・クラブ週報(委)、ロータリー情報・研修(委))と理事会との調整役となるよう努める。	随 時	

## 会員増強委員会

委員長 三宅 清 嗣                      副委員長 若山 洋 作  
委員 平田 正 五・大之木 晴 樹・坂田 正 二  
宇都宮 嗣 記

### ◎活動目標

職業分類を考慮しながら、奉仕の心を持っている人々を会員の協力を得ながら発掘し、関連委員会とともにクラブ委員の純増を計る。

事業計画		実施予定月	
1	会員増強月間に方針を示して、会員候補者の掘り起こしと情報提供・推薦をお願いする。	8 月 (随 時)	
2	会員及び地域社会の人脈を通じ、会員候補者の情報を広く集める。	随 時	
3	未充填職業分類の重点に努める。	随 時	
4	関連委員会・会員と協同して、新会員のフォローを行っていく。	随 時	

## 会員選考・職業分類委員会

委員長 大之木 伸一郎 副委員長 渡 邊 啓  
 委員 奥 原 次 郎・福 田 昭 二・宇都宮 卓 蔵

### ◎活 動 目 標

地域社会に存在する職業分類を決定し、適合した未充填会員の補填に努力したい。  
 会員選考は理事会から回付された被推薦者について、あらゆる面から適正な審査をして、クラブに発展に資する。

事 業 計 画		実施予定月
1	【会員選考】 会員増強委員会と連絡を密にする。	
2	被推薦者については個人的観点から会員として、ふさわしい人物かどうかを調査し、所定の手続きを経て適否の判断を理事会に報告する。	
1	【職業分類】 過去の職業分類を見直し、新年度の実態に即した検討をする。	
2	未充填職業分類の一覧表を作成。	
3	理事会及び関係委員会と連絡を密にし、未充填会員補填に努める。	

## 出席・プログラム委員会

委員長 福 島 義 文 副委員長 大 塩 俊  
 委員 宅 見 義 喜・大之木 精 二・小 野 哲 也

### ◎活 動 目 標

1. 「魅力あるクラブ運営」に向け、各委員会・会員との連携、協力を進め、時機を得た有意義なプログラムを設定する。
2. 出席の意義と理解を深め、一層の出席奨励に努める。

事 業 計 画		実施予定月
1	各会員の卓話やフォーラムなどを通じ、職業観や人生観、地域への思いを知り、「職業奉仕」の実現に向けた会員相互の理解を深める	随 時
2	タイムリーな外部講師の招聘	随 時
3	特別月間のテーマに基づく担当委員会による例会の運営	各 月
4	各委員会事業・R Iや地区の各種大会などの報告の実施	随 時
5	新会員、年男など会員の人柄を知り交友ネットワークを広げる折々の企画の実施	随 時
6	出席カード作成	6 月
7	出席報告	毎 月
8	出席奨励	随 時
9	皆出席者の表彰	8 月

## 親睦活動委員会

委員長 山村 貞夫 副委員長 宮中 敏秀  
 委員 手島 泰晴・屋敷 隆明・堀口 勝哉  
 上田 功・後藤 正・田中 利幸  
 下 紺 秀 則

### ◎活動目標

1. 会員相互の親睦（親しみやすい環境作り）
2. 来訪者への対応（例会中のお客様への心遣い）
3. 家族例会の開催  
 （家族間の親睦を深めると同時に奉仕の心を理解していただく例会の企画）

事業計画		実施予定月
1	秋季家族例会（観月例会）	9月18日
2	新会員歓迎会	適宜
3	忘年家族例会	12月18日
4	春季家族例会（観桜例会）	4月2日
5	最終夜間例会	6月25日

## 広報・クラブ週報委員会

委員長 木村 嘉宏 副委員長 福田 多喜二  
 委員 真鍋 欣良・多田 康博・上田 功

### ◎活動目標

1. 呉ロータリークラブメンバーに対し、出席率アップに資するようにクラブの現状をタイムリーに紹介し、併せてITの有効的な活用も視野に入れながら楽しく有益な情報を提供する。
2. 広く地域社会や一般の人々に、呉ロータリークラブの奉仕活動内容を情報提供するとともに「ロータリーの友」を提供することにより、ロータリー活動に関する公共的イメージの向上に努める。
3. 担当例会を開催する。（雑誌月間—4月）

事業計画		実施予定月
1	呉ロータリークラブの週報を発行する 週報台紙 48回分 42,000円 4P版 12回 252,000円 2P版 36回 378,000円 写真掲載 @500×80枚 42,000円	毎週
2	呉ロータリークラブが行っている有益な活動をマスコミに情報提供し、広く知ってもらう また、ホームページの更新を行う	随時
3	マスコミの方々との会合を持つ	
4	各公共施設に「ロータリーの友」を提供し、ロータリーの存在と意義を知ってもらう	毎月
5	担当例会を雑誌月間に開催する	4月

## ロータリー情報(研修)委員会

委員長 武田 保 信                      副委員長 島 村 充  
委員 増岡 博之・宇都宮 五郎・岩崎 正衛

### ◎活動目標

会員及び入会予定者に、ロータリアンとしての必要な基礎的知識・最新情報等を提供し、各位の資質向上とクラブの更なる活性化を援助する。

事業計画		実施予定月	
1	入会予定者及び新会員に対するオリエンテーションの実施	随 時	
2	情報集会の実施	年 数 回	
3	ロータリーの理解推進月間プログラムの実施	1 月	
4	「ロータリーの友」を中心に重要且つ興味ある情報の紹介	毎月第2例会	
5	新会員勉強会の実施	年 2 回	
6	研修委員会として、ロータリーに対する理解を深める情報を会員に提供する	随 時	

## 職業奉仕委員会

委員長 森 沢 大 司                      副委員長 海 生 知 亮  
委員 梶 山 俊 彦・佐 治 文 隆・岡 隆 光

### ◎活動目標

事業を継続的に発展させてこそ、はじめて個々のロータリアンが高い職業論理を持ち、地域社会を活性化し、社会貢献できるのではないかと考えます。本年度は企業の存続を視点に、職業奉仕を考えてみたいと思います。

事業計画		実施予定月	
1	企業の存続と発展について a.アンケート b.フォーラムの実施	7 月	
2	職業奉仕関連の会員卓話		
3	職業奉仕の理解を深めるためのフォーラムの開催	10 月	
4	その他		

## 社会奉仕委員会

委員長 松浦 秀夫 副委員長 武田 正 視  
 委員 三木 能章・大類 晴生・三宅 信一郎

### ◎活動目標

ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活の奉仕の理想を適用することを奨励、育成することを目標とする。この目標達成のための地域社会における奉仕の機会を調査し、具体的項目について検討する。

1. 呉地域の文化・歴史をエリア別に学習したことに基づいて明らかとなった問題点の解決に結びつく方策を検討する。
2. それに関連した会員個人の得意とする知識、能力を把握する。
3. 青少年の活動に積極的に支援する。

事業計画		実施予定月
1	呉地域の文化・歴史のエリア別学習に基づき、把握された社会問題、地域ニーズへの対応策を模索する。	年4回程度
2	問題解決に向け、会員個人の知識・情報・経験・人脈・能力を把握する。	随 時
3	NPOとの情報交換	随 時
4	新世代奉仕委員会との連携推進。 (講座、セミナー、未来塾開催等への協力)	随 時
5	呉ローターアクト委員会との連携強化。 (土曜夜市バザー協力、地区大会開催の支援等)	随 時
6	委員会開催	7月/11月/4月

## 新世代奉仕委員会

委員長 安瀬 洋一 副委員長 稲葉 周三  
 委員 柳原 正志・尾田 秀文・梶岡 幹生  
 岡 隆光

### ◎活動目標

1. 新世代のよりよき未来を確実なものとするため、情熱をもって奉仕活動を推進する。
2. RA委員会との連携を密に図りながら、委員会活動を行う。

事業計画		実施予定月
1	地域特有の教育課題に関する事業 (学校と連携を図りながら講座等を開催する)	
2	新世代のための月間における委員会担当例会の実施 (RA委員会との連携)	9 月
3	広島国際大学講座(キャリア開発)への支援(講師派遣等)	10 月
4	呉大学就職懇談セミナーへの支援(講師派遣等)	11 月
5	RA委員会との連携協力	随 時
6	次世代を担う高校生のための未来塾参加への支援	8 月
7	青少年育成事業への協力 第51回呉市中学校野球大会共催 第38回呉地区少年剣道大会共催	
8	RYLAへの協力	3 月

## 呉ローターアクト委員会

委員長 坂田 健治 副委員長 大島 淳稔  
委員 松田 修典・頃末 佳治

### ◎活動目標

ローターアクトクラブの活動目標の理解促進ならびに自主運営の向上を支援する従来の目標に加え、今年度は、2710地区のローターアクトの代表を呉ローターアクトから出すのを受け、1. ローターアクトメンバーの増強、2. 必要となる活動資金の確保、並びに、人的支援に重点を置く。

事業計画		実施予定月	
<b>【RAC活動への直接支援】</b>			
1	全国研修会（長崎）指導者研修（徳山）	2月、4月	
2	地区活動支援（地区分担金、年次大会（呉）会長幹事会（年3回）派遣費） （地区代表活動支援費）	都 度	
3	バザー等活動支援	8月、2月	
4	国際理解推進のための海外研修支援（シンガポール）	11 月	
5	ローターアクトクラブ例会への出席と卓話講師派遣	都 度	
<b>【RAC活動への間接支援】</b>			
1	企業訪問あるいは他ロータリークラブへの働きかけによる会員増強支援	随 時	
2	RAC例会へのロータリアン参加の呼びかけ	随 時	
3	ローターアクトクラブ活動の広報 ①ロータリー例会での「呉RAC通信」配布 ②ロータリー例会でのローターアクトメンバーの活動報告 ③広報の媒体、内容に付いて検討	毎 月 随 時	
4	委員会開催		

## 国際奉仕委員会

委員長 神垣和典 副委員長 田中利幸  
委員 大村一郎・宇都宮嗣記

### ◎活動目標

国際交流に関しては仁川RCへの対応を機軸に親善を深めていく。また呉に在住、留学している方々と交流を図って、民族意識・文化の違いなどを理解していく。

事業計画		実施予定月	
1	仁川RCの創立記念日に訪問 または受け入れ	11	月
2	仁川RC交換学生受け入れ対応（2名）	8	月
3	呉市国際交流協会への協力		
4	国際奉仕委員会担当例会	3	月
5	呉市在住の留学生との文化交流	通	年
6	世界大会（イギリス バーミンガム）への対応	6	月

## ロータリー財団委員会

委員長 藤井清実 副委員長 上田英夫  
委員 海生孝昭・中下壮平

### ◎活動目標

ロータリー財団に対する会員の理解と認識を深めることにより、寄付活動などへの積極的参加をはかる。

事業計画		実施予定月	
1	ロータリー財団月間に財団への理解を深めるプログラムを実施する	11	月中
2	一人当たり110ドル以上の年次寄付を推奨する	随	時
3	恒久基金寄付（ベネファクター）を推奨する	随	時
4	「100万ドルの食事」の実施	年	2回
5	DSG（地区補助金）の積極的活動をはかる	通	年
6	地区財団セミナーへの参加	2008.8.24	
7	国際親善奨学生への派遣	通	年
8	その他		

## 米山記念奨学会委員会

委員長 長尾正嗣 副委員長 桧内好己  
委員 奥川善太郎・山本耕・大上功

### ◎活動目標

米山記念奨学会の目的および事業について、会員の理解と認識を深め、積極的な協力を得るための活動を行なう。

事業計画		実施予定月	
1	米山奨学会への寄付を推進。	随時	
2	米山月間プログラム実施。	10月	
3	米山記念奨学生の卓話。	3月	
4	米山学友会への協力。 (賛助会員へのお願い)	随時	

## 会場監督

委員長 長行事 義人  
副委員長 住田佳樹  
委員 梶山泰久

### ◎活動目標

クラブの品位と秩序を守りながら、会員相互の交流を促進する。

事業計画		実施予定月	
1	品位と秩序を保った、例会運営に努める。		
2	新会員とベテラン会員が交流できる、グリーンテーブルを設営する。		
3	ニコニコ基金を管理・報告し、自主性を重視しながらも、活発な運営をする。		
4	他委員会との連絡を密にする。		
5	例会食事を検討する。		
6	会員誕生日・年男の記念品を選定する。		
7	会員相互の交流が促進できる、席次表を工夫する。	随時	

## 会 計

委員 長 楠 孝三郎

副委員長 下 紺 秀 則

### ◎活 動 目 標

理事会が承認した収支予算に基づき、事業計画に準拠して会費の徴収及び支出を適正に各項目ごと厳密に検証管理し、その活動を通じて財政の健全化、事務費の無駄の排除の検証を行い、正しい方法を探索する。

事 業 計 画		実施予定月	
1	全資金の保管、及び記帳、資金の受け入れ及び支払いを適正に行い、無駄の排除、検証を行う。	随 時	
2	定期的に収支決算書を作成し、予算の適正な運用に努め、年度終了時は速やかに収支決算報告を行う。	随 時	
3	上記活動を通じ、クラブ運営費の抑制のチェック機能を働かせ、好ましい収支バランスとなるよう努め、次年度活動に引き継ぐ。	随 時 及び年度末	